

第3回 アイランドシティ地区 新設小学校（仮称）開校準備委員会

日時：令和4年12月5日（月）
11時00分～
会場：照葉北公民館 講堂

～会議次第～

1 議事

- (1) 新設小学校 校名（案）の意見募集結果及び決定について 資料1
- (2) 新設小学校 校章・校歌について 資料2

2 報告事項

新設小学校の学校教育目標・通学路について 資料3.4

3 連絡事項

○第4回開催について（予定）

日程：令和5年1月中旬

会場：照葉北公民館 講堂

議事：校章・校歌の検討について

報告：教育目標・通学路の検討について

新設小学校 校名（案）の意見募集結果及び決定について

1. 新設小学校の校名（案）の選定について（これまでの振り返り）

◆令和4年8月29日 第1回開校準備委員会

校名（案）決定までの進め方について、

- ① 公募
- ② PTAなどの各団体からの持ち寄り
- ③ 委員会内で案を出して意見募集
などの進め方の中から、②各団体（PTA・自治協・自治会・公民館等）で協議・検討し、第2回会議に持ち寄って選定することとしました。

◆令和4年10月24日 第2回開校準備委員会

校名（案）の選定について、各団体から持ち寄った17案の中から、複数の団体より出された校名（案）が下表の①～④、これに各団体の委員から推薦のあった⑤～⑦を加えた7つの案で協議を行いました。最終選考に⑤照葉みらい小学校、⑦照葉はばたき小学校が挙げられ、**⑦照葉はばたき小学校を開校準備委員会としての校名（案）に選考しました。**

（参考）第2回会議で選出された7つの校名（案）

No	校名(案)	理由
①	照葉西 小学校	・既存の学校名に方位を加えたもの
②	照葉みなと 小学校	・「香椎照葉」+「みなと香椎」
③	みなと照葉 小学校	・「みなと香椎」+「香椎照葉」
④	はばたき 小学校	・未来に向かってはばたいてほしいという願いを込めた。 ・学校近隣に整備予定の公園の名称に由来
⑤	照葉みらい 小学校	・照葉小中、照葉北小の校歌の一部 （「心照らし」、「人を照らし」、「未来を照らす」）に由来
⑥	照葉みどりまち 小学校	・まちづくりの方向性を取り入れ、児童が校舎へ入るところをイメージした。
⑦	照葉はばたき 小学校	・「はばたき小学校」に地域に根差したイメージを持つため、「照葉」を加えた。

2. 意見募集の結果について

校名の検討にあたって留意する事項について

10月26日（水）から11月7日（月）までの期間で、校名（案）に対する意見募集を行い、下記のとおりご意見をお寄せいただきました。

◆地域毎の回答数

お住いの地域	(件)
3丁目	4
4丁目	6
5丁目	15
6丁目	6
7丁目	3
記載なし (うち新設小校区)	21 (3)
計	55

○いただいた意見要旨 ※回答1件で複数の意見あり

要旨	(件)
「は」の音が続くため発音しづらい 長い・違和感がある・わかりづらい	34
特別支援学校や分校で使われている 特別支援学級・幼稚園・保育園のイメージ	12
照葉小・照葉北小との統一感がない	19
ひらがなは好ましくない、漢字にすべき	5
アンケートを取ってほしい、取ってほしかった	6
その他	12

○「照葉はばたき小学校」以外で希望する校名案

※回答1件で希望なし・複数の意見あり

学校名	(件)
照葉西小	29
照葉みなと小	6
照葉みらい小	4
その他	4

上記の意見募集の結果などを参考とし、開校準備委員会における校名（案）を最終決定します。

新設小学校 校章・校歌の検討について

1. 校章について

(1) 校章とは

「校章（こうしょう）」とは、学校を象徴する記章です。学校への所属を表すことや、他校との識別のために用いられます。学校設置の要件として校章や校歌を準備する旨の法規等は存在しませんが、慣習的に、学校には同じ学舎で目的を一つとして学習に励むものの心の繋がりを高めるために校章があり、校歌がある、とされています。

(2) 校章デザインへの意味づけ

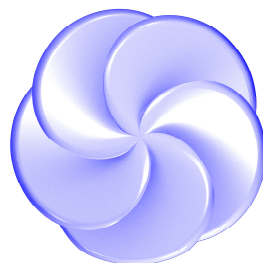
福岡市立の小中学校の「校章」は、学校名やその学校が目指す教育目標を具象化したものや、小学校では、入学時のシンボルであるさくらの中に校名をデザインしたものなどが多く見られます。



福岡市立舞鶴小中学校



福岡市立住吉小中学校



福岡市立西都北小学校

(3) 照葉小中学校・照葉北小学校の校章について



福岡市立照葉小中学校



福岡市立照葉北小学校

【校章の意味について】

- 1 葉は照葉樹を表現し、豊かな自然と小中学校を意味している。
- 2 葉柄の交差は、小中学校の連携を表現。
- 3 周りの九つの文様は、ペンを表し、9か年の学びの姿を表現。
- 4 内側の円は、地球を表現。

2. 校歌について

(1) 校歌とは

「校歌（こうか）」とは、児童生徒や教職員が学校行事の際に唱う歌のことです。広義には、その学校公認の歌、学校にまつわる歌（応援歌・寮歌など）もすべて校歌ともいえますが、一般的には、広義の意味を示す学校歌の中で最もその学校を代表するに相応しい歌を「校歌」と称しています。

(2) 校歌への意味づけ

メロディについては作られた時代や作曲者などによって違いは様々ですが、歌詞については一定の類型が存在し、よく歌われる内容としては次のようなものが挙げられます。

- 学校の所在地周辺の自然や地理、風土、具体的な地名 など
- 学校の標語や校訓、教育理念、校風 など
- 学校や学校の所在地の歴史
- 社会や未来への貢献、新しい社会の建設などを語るモットーやスローガン
- 学校名

(3) 照葉小中学校・照葉北小学校の校歌

三 西に広がる 女界灘に 祖先が教え 求めつつ 雄々しい船出 海の道 未来を照らし 磨き合い 知恵を貯え 磨き合い 世界に向けて 磨き合い いざ羽ばたかん 幼きも 若きも 手を携えて 刻まん歴史 我らが 照葉校 照葉校	二 緑なす木々 葉陰に宿り 若鳥の歌 声として 過ぎす九年 学ぶ庭 人を照らし 馴れ睦び 絆を深め 馴れ睦び 学舎 我がまち ともに創らん	一 歴史を照らす 立花山に 波は静かな 香椎潟 新しきまち 集う我ら 心を照らし 身に染めて 草木の強さ 身に染めて 勉学 勤しみ 大樹とならん	照葉小中学校 校歌 作詞 藤坂 親 作曲 齊田 雅夫
---	--	---	----------------------------------

3. 今後の進め方について

上記の考え方などを踏まえて、今回の委員会で校章・校歌をどのようなものにするか方向性を決定し、次回の委員会で具体的に検討を進めていきます。

アイランドシティ地区新設小学校開校準備ワーキンググループ

(1)学校教育目標検討WGメンバー

<メンバー>

久保田 篤	照葉北小校長
佐伯 修一郎	照葉北小教頭
篠原 浩一	小学校教育課主任指導主事

※必要に応じてWGを開催する。

(2)通学路検討WGメンバー

<メンバー>

佐伯 修一郎	照葉北小教頭
篠原 浩一	小学校教育課主査
篠崎 俊之	安全・安心推進課主査
横山 昇	通学区域課係長
田中 秀樹	通学区域課

※必要に応じてWGを開催する。

(3)開校準備委員会での検討スケジュール

	スケジュール	内容	
		教育目標	通学路
第1回	8月29日(月)		
第2回	10月24日(月)		
第3回	12月5日(月)	教育目標の方向性 (照葉小中・照葉北小・新設中との関連について)	
第4回	R5年1月中旬	教育目標の方向性	通学路候補と検討事項の報告①
第5回	R5年5月下旬	教育目標案検討	通学路候補と検討事項の報告②
第6回	R5年7月下旬	教育目標決定	通学路の決定
第7回	R5年9月下旬		
第8回	R5年2月下旬		

アイランドシティ地区新設小学校の学校教育目標について

○福岡市をめぐる教育の動向

- ・「第2次福岡市教育振興基本計画」(R元年6月)
- ・「学力向上のための授業改善の手引き」(R2年3月)
- ・学習指導要領の全面实施(小：R2年、4月)
- ・GIGAスクール構想(R2年、11月)

○校区を中心とした地域の状況

- ・年々増加する児童生徒数と小学校・中学校の新設計画
- ・住宅、商業施設、病院、福岡市総合体育館、公園等を中心とした街の発展
- ・港湾機能強化、新しい産業の集積拠点の形成
- ・今後も進むアイランドシティ整備事業
- ・和白干潟、アイランドシティ中央公園、はばたき公園を中心とした野鳥、水生生物等の自然環境

○新校舎の特徴

- ・子どもたちが使いやすく、安全・安心やゆとりを感じられる施設
- ・教育効果を高めるための施設
- ・環境負荷の低減や自然との共生を考慮した施設
- ・木材を活用した施設
- ・子どもたちや地域住民の防災拠点を目指した「災害に強い学校づくり」
- ・小中連携教育の取組みに資する学校づくり

照葉小学校： 照葉スタンダード「感謝と文化」を合言葉に小中連携教育に取り組み、義務教育の9年間で、大人になるために必要な3つの力「人間関係力・生活の力・学力」を身に付けさせ、目標をもって卒業させる。

照葉北小学校： やさしさとたくましさをもち ともに学び未来を創り出す子どもの育成

